



2008～2009年度
国際ロータリーのテーマ

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区ガバナー 片山主水

地区報

2008～2009

08年度(平成20年度) ロータリー愛知81

会員増強及び拡大月間

奉仕の理想

8月

2008年8月1日

目次

クラブ紹介	1
活動	1
催し	4
同好会	5
親睦	5
私とロータリー	6
随筆	7
俳句・川柳	8
善語座右	9
「防毛録」片山主水	9
投稿募集要項	9



【表紙写真／常滑の海】 撮影 南尾張分区 常滑RC 谷川 和親

伊勢湾の海水と木曾三河からの山水の調和で、日本一おいしい「のり」の収穫作業海域場所です。
今日も元気に大勢の人たちの作業風景。空には中部国際空港セントレアから世界の空へ飛んでいきます。



クラブ紹介

◆田原パシフィックRC(東三河分區) 夜間例会

当クラブ設立の経緯は、親クラブの田原RC創立30周年記念の一環として計画されました。しかしながら人口4万1千人と小さな町ですので、会員を獲得する方法として夜間例会を考え次第です。当時私が入会していた田原RCで大先輩より、常々例会の3つの要点として次の教えを受けていました。

1. 美味しい食事
 2. 魅力ある卓話
 3. 楽しい雰囲気を出し出す会場作り
- 美味しい食事は、会員の中に3名の料理店主があられ、お互いに切磋琢磨して現在まで努力を重ねて戴き、全く頭の下がる思いです。
- 卓話は各年度の担当会員が工夫と熱意で、広い領域から魅力あふれる卓話者を選択し、時には音楽の分野まで多種多様で大満足です。

最後の会場作りは、会員が陶芸の趣味を生かし、寄贈された手作りの湯呑、箸置き、花瓶があり、その花瓶には花を愛する会員の、さりげない山野草の一輪が食卓をより暖かく彩っております。

手作りの夜間例会には是非メー

キャップを。全会員でお待ち申し上げます。

内柴義郎

活動

●一宮RC(西尾張分區)



豊島俊明

一宮ロータリークラブ会長の豊島俊明と申します。今年度のクラブ運営で、通常の例会以外で下記のプログラムを予定しています。

職業奉仕活動の一環で毎年職場例会を行っています。今年度は来年5月21日から裁判員制度が実施されるのを受けて、裁判所見学と裁判員制度に関する説明会を名古屋市へ出向いて行います。

また、社会奉仕の面で、障害者に方々の作業所訪問として、一宮市内で運営されているうどん屋さんを、訪問し、彼らを囲んで懇談会を開催する予定です。

さらに、毎年行っている環境保全をテーマに、地元につながる「大江川クリーン作戦」事業に参加する予定です。

会長 豊島俊明

●津島RC(西尾張分區) 恒例の「530運動」開催

尾張津島天王祭や藤まつりの会場であり、「日本の歴史公園百選」にも選ばれた天王川公園で、津島ロータリークラブは5月24日(土)、「530運動」を開催しました。これは1982〜83年度から始まり、現在は社会奉仕委員会と環境保全委員会の合同行事として定着しています。

本年は、津島市教育委員会の後援を得て、津島市及び愛西市内のボーイスカウト、ガールスカウト、幼稚園の園児と保護者、RC会員の総勢約350人で清掃活動をしました。また、西尾張分區のAEDトレーナーを使って、公園内の休憩所で説明会も行いました。

あいにくの天気でしたが、雨に降られることもなく、大量のごみを回収



集まった地元の協力者に挨拶する
山田勝弘社会奉仕委員長

し、成功裏に終了しました。地元のケーブルテレビに密着取材されたり、中日新聞尾張版にも掲載されました。

次年度雑誌委員長 服部貴

●名古屋東南RC(西名古屋分區)

我が名古屋東南ロータリークラブ・環境保全委員会は『友愛の庭』、大高緑地公園・日本庭園(当クラブ寄贈)において『530運動』を5月28日に実施しました。

天候に恵まれ40名近い会員・家族が集まり庭園清掃活動に程よい汗を掻き充実したひと時を過ごしました。伊藤秀雄会長の「ゴミを出さない、持ち込まない」のスローガンで無事終了しました。『友愛の庭』は名古屋市緑区内大高緑地公園に有ります四季により花木の風景が綺麗です一度お立ち寄り下さい。
<http://www.aichi-toshi.or.jp/park/park.html>
(HP) /odakalindex.html

環境保全委員会 尾本和弘



大高緑地公園・日本庭園「友愛の庭」で「530運動」



「椿賞」表賞

●名古屋名駅RC（西名古屋分区）
今回は名古屋名駅ロータリークラブ独自の表彰制度「椿賞」についてご案内いたします。
表対象のジャンルは問いません。名古屋市を中心とした地域において、既に成功している人に対してではなく、その試みがより良い社会環境創りに努力している個人又は団体を表賞するものです。
当クラブは中村区椿町に位置し、神社など地名に由来した名称も多く、これにより「椿賞」と命名しました。椿の花の真っ赤な色は情熱と喜びと誠を意味し、奉仕の理念を表しています。本年度は、名古屋大学大学院医学研究科・坂本純一教授を表賞いたしました。氏は、アジア諸国の医療行政の分野において、将来のナショナルリーダーを育成・支援するというヤング・リーダー

ズ・プログラム（YLP）並びに留学生支援無償事業（JDS）のリーダー的役割を担われ、各国間のネットワーク創りや相互理解と信頼を深める上で多大な貢献をなされています。
この様に「名駅より世界へ」という当クラブ設立時のテーマを原動力として「椿賞」を始め奉仕活動を継続していく所存です。
石黒 隆

●名古屋名東RC（東名古屋分区）
高校生の社会奉仕と国際理解を援助する為に提唱されました。千種高校インターアクトクラブも、平成7年6月24日発足以来、今年で13年目を迎える事になりました。
34名の部員の皆さんは、地区の協議会、文化交流（JICA研修生との交流）国際交流（海外派遣研修）ボランティア活動（子供の虐待防止ネットワークあいちの募金活動）等々に参加され、積極的に活動されています。
当委員会では、部員の皆さんにクラブ活動を通じて、人間関係の楽しさ、大切さを実感して頂き、思いやりの心を育てながら自立していつて頂ける環境の充実を目指し、サポートさせて頂いております。
「次代を担う青少年の人材育成」に引き続きロータリアンの皆様の温かい御



千種高校インターアクトクラブ

支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。
インターアクト委員会委員長 丹羽 幸

●名古屋昭和RC（東名古屋分区） 環境学習の森づくり

当クラブでは、地域の環境保護に役立つ事業を模索していたところ、昭阳区役所が計画している「川名公園環境学習の森づくり」の趣旨に賛同し、この森づくりは、近年の環境への関心の高まりを受け、都市における緑地を創出するとともに、子供が関わる仕組み（森づくり隊の結成）とし、自然の営みを観察学習し、体験でき、広く環境学習の場となる「森」を創出する。これらの実現のため、当クラブ会員、家族および地域の子供達と、各種ボランティア団体とで結成した森づくり隊と一



「川名公園環境学習の森づくり」



緒に、敷地2000㎡にどんぐり類の苗木2000本を5年間で植樹し、その維持管理として雑草刈り等を継続作業として実施しています。すでに今までに、計6回、苗木1000本を植樹してきました。

この環境学習の森が、10年、20年の歳月を経て大きくなれば、子供達にとっては、カブトムシ類が生息する昆虫採集の遊び場となり、一方地域の大人達には散策路であり、憩いの場所として利



用されます。又、地球温暖化の予防の一助となる森が形成されることを期待しています。

社会奉仕委員会 高村 富三

●豊橋RC(東三河分区)

人づくり(Ⅱ)

インターアクトクラブの支援

豊橋商業高校インターアクトクラブ(IAAC)の歴史を紐解くと、1965年結成とある。

豊橋RCの神野太郎氏がガバナーを務められた年である。以来、豊商IAACは43年間に5回IAAC地区協議会をホストした。1回目は1968年、豊橋RCの実行委員長は高沢隆氏であった。以後、高山彦人、内山卯三、浦多久二の各氏が実行委員長をされ、昨年7月に松井章悟実行委員長(本年度地区ガバナー補佐)のもと、第18回(通産44回)IAAC地区協議会をホストした。

豊商IAACのメンバーは会場を愛知大学とし、「分科会は手作り」で準備を進めた。豊商の校長はじめ顧問の先生方も熱心に指導してくださった。

豊橋RCは昨年度ブラジルをテーマに取り組んだ。分科会に組み込まれたブラジル人高校生との交流会で彼らはひとつに溶け込んでいた。IAACで培った奉仕の精神をいかに発揮し

てくれた。とても感動した。

彼らは社会に出てからもきつと立派に行動してくれることを期待している。

幹事 高須 博久

●新城RC(東三河分区)

100万本の桜の街を目指して

300年以上のその昔、新城城主により植えられた桜が始まりだと言われる桜淵公園。でも最近、公園の桜に元気が無く、それが町の活気の無さと重なって映ります。そこで、市民が完全主導の街おこし活動が始まりました。初年度の実績として、ふるさとの街中に1000本の桜が市民の手で植樹されました。10年計画となる「100万本の桜プロジェクト」。植えた桜の本数以上に、ふるさと新城の街が元気に



2月10日全国初となる市民200人参加での高速道路沿いに植樹する風景

なることを期待できそうです。

2月17日 第2760地区 愛知県

松井 章泰

●岡崎東RC(西三河中分区)

岡崎東ロータリークラブに入会

して、3ヶ月目に、ホームページをリニューアルするという事で、制作させていただきました。このときにまず、大きく2つのことを考えて制作にあたりました。まず初めに、インターネットの担当が1年ごとに変わるの、だれもがデータの追加、変更できるようにCMS(コンテンツマネージメントシステム)で制作しました。

今回は一般的に普及しているブログシステムを利用しつつ、通常のホームページに見えるデザインで構築をしています。

2番目にRCというイメージの構築です。入会していない人からは、「いつかはRCに入りたくなる」、また岡崎東RCの会員は、「RCで奉仕することを誇りと考えられる」しつかりとしたデザインを目標にしました。

今後の活用目標としては、岡崎東RCの独自事業の報告があまりされていないので、その事業報告や、RCの仲間同士の懇親会報告などを行えるようにしたいと思います。今後、会員にとってホームページが、楽しさを伴っ

た絆の場としての発展と、外部に向けての奉仕事業からの啓発活動となるようにできればと考えます。

<http://www.okazakiastrotiary.org/>

ぜひご覧ください。

坂野 弘



岡崎東RCホームページ画面

●豊田中RC(西三河中分区)

環境保全例会

「530運動」の実施

我が豊田中RCの環境保全委員会担当当例会は地域奉仕活動として「530(ゴミゼロ)運動」による環境美化活動を2003年度から継続事業として行なっております。当初は豊田市中心部を流れる矢作川の河川敷きを豊田市を初めとして市内の各企業及び団体により大規模なクリーン活動に参加し、家庭ごみや金属くず、タイヤなど大量のゴミを拾うことで河川の水質浄化と景観美化に協力いたしました。その後、豊田市駅前よりトヨタスタジアムまで



沿道のゴミ拾いとして昨年まで実施して来ました。

この「第2760地区統一クリーンキャンペーン」による取り組みの輪をさらに拡大するとともに粘り強く継続することで、身近なところからゴミをなくし快適な住環境を実現できることを願い本年も実施いたしました。我々総勢50名足らずの活動ですが、地元メディアの広報による支援を受け序々に地域に認知されてきました。530運



2003年から継続事業として続く「530運動」



動の基本精神は「自分のゴミは自分で持ち帰ろう」です。他人が捨てたゴミを拾うのではなく「拾う必要のない環境にしよう」を合言葉に今後も地道に取り組んで行きます。

前環境保全委員長 木戸重信

●一色RC(西三河分區)

咲かせ！『奉仕の花』

「大地に花を咲かせよう！」

誰の手に渡し、どんな色の花が咲くのか？

一色ロータリークラブ職業奉仕委員会（委員長小池孝）は、職場訪問例会を5月29日活動拠点の一色を離れ、お隣の西尾市憩の農園で開催した。当日は園長の卓話の後、小池委員長の企画により、会員・夫人らがマーガレットやコスモス、ヒマワリなどの花の種のついた



風船を飛ばした。種の袋には、地球上のどこかで色とりどりの「奉仕の花」が咲くようお願いを込めて、「一色ロータリークラブ創立45周年記念事業 大地に花を咲かせましょう」と印刷されたシールが貼られている。

直前会長 神谷正康

催し

●一宮中央RC(西尾張分區)

最近の小学校においては運動会における勝敗の回避や、親と一緒に昼食会などの取りやめなど私たちの小学校時代には親との楽しいイベントであった行事も悪しき平等のもと味気のないものとなっているそうです。現実の世界では規制緩和のもと自由競争の流れは、より一層厳しい状況に有り、相互協力どころか弱肉強食の競争原理が優先し、弱者を思いやる寛大さもいつの間にか失われつつある。個人の能力の客観的優劣をお互いに認識した上で、その差を克服しようとする姿勢は尊いものです。その意味ではスポーツにより身体鍛錬を図ることが今、求められています。

23日に一宮市光明寺競技場において少年サッカー大会を挙行政します。対象者は小学生2チームのリーグ戦順位戦

をロータリアンの運営管理のもと行います。当日は一宮シテイケール館の取材により2時間程度の番組を編集し後日、放送されることになっております。子供達の元氣あふれる映像がお茶の間に流れることにより、親子の会話のきっかけや、多くの友達の輪が広がることに少しでも貢献できれば幸いです。

会長 大森進

●名古屋葵RC(東名古屋分區) 研修旅行2008 福岡・博多



明太子メーカー工場見学

去る6月14日(土)15日(日)の2日間は福岡・博多への研修旅行でした。宿泊先に隣接する再開発スポット、キャナルシティ散策後は明太子メーカー(株)山口油屋福太郎の工場見学です。専務取締役の山口勝子氏のお話の中で、私が興味深



かったのは、明太子の製法を考案したあるメーカーは、それを独占せず、むしろ他社に伝播し多くのメーカーが各々特徴を出し、切磋琢磨しながら、博多名物としての地位を確立したというくだりです。1社だけでは、これだけ名物にはなり得なかったでしょう。

その後、例会場となる料理店「芙蓉別館」に場所を移し、郷土料理を堪能しながら宴は司会者の計らいにより、あと僅かで任期を終える、今年度の石田会長・堀口幹事両名をねぎらう場となりました。

古代より大陸との接点となり、現在さらに東アジアとの交流を深めながら発展する福岡・博多の街を体感する旅となりました。

浅野哲司

同好会

●名古屋栄RC(西名古屋分区)

名古屋栄RCには趣味の会がいろいろありますが、とりわけ、ゴルフ会、読書サロン会、美味探究会は活発に和やかに行われています。

RCの活動の目的のひとつに親睦がありますので、すべての会員がどれかひとつでも趣味の会に参加していただくとより一層RC活動も楽しいものに

なるのではないのでしょうか。

私もゴルフ会に入会しているので、ゴルフの四方山話をひとつ。ワンホールでの最多打数は161打。ギネスブックを叩いたそうです。

1913年、ペンシルバニアのシヨニー・インビテーショナル女子選手権で、16番シヨート・ホール(162ヤード)で、第一打が対岸に届かず、川に落ち、ボールがまだ貴重であり、水に浮くという時代でしたので、観戦していた夫に近くにあった舟遊び用のボートを漕がせ、5番アイアンでイクスプロージョンの水しぶきをあげ続け、40打目で陸に打ち上げ、森の中を木樵のように振り続け、岩の間にめり込んだボールもあるがままの状況でプレーをしたそうです。女性が強です。

幹事 立松賢

親睦

●岡崎RC(西三河中分区)

芝蘭之交―中国の言葉―雲芝の意・転じて善人君子のたとえ、良い感化が得られるような麗しい交友関係を言う

芝蘭会(親睦会)

「芝蘭会」のそもその始まりは、今から20年ぐらい前に遡る。入会して3年目に始めてロータリーアクト委員長を

仰せつかりました。

早速第一回の委員会をやることになり、ミニケーションを図るべく名鉄岡崎ホテルの屋上ビアガーデンに委員会メンバー全員馳せ参じた

この時大いに盛り上がり、今後も毎月やろうということに即決定。その後、新年会のある一月を除いて、毎月実施。

たまたま会員の一人が、年明けに北海道札幌に栄転されたので、6月に委員会の打ち上げとして函館に一泊二日で行きました。

年度が替わり、私は再び委員長を仰せつかり、この年度もほとんど毎月ノミニケーションをやりました。この時、一滴も飲まないある会員が、自分の所属する委員会の人数が少なくて淋しいから、仲間に入れてくれと入っていました。

会を重ねるごとに、他の委員会の人々が一名加わり二名加わりして、参加者が段々と増えてきました。

そこで、「岡崎ロータリーの名前を使ってFAXして欲しい、そうすれば、この会に出やすい」という声があがりました。

その後、「岡崎ロータリークラブ合同委員会」という名称で案内を出すようになりました。

これは、全部私が段取りをしてFAX送信しました。そして、酒が飲



9月・「鮎」(地元のお茶と一緒に焼いたもので大変香ばしい・絶品です)

めない下戸でも楽しめるように、週刊誌・新聞等から旬の味を見つければ、直ぐに「前金で払いますから送ってくださいか」と直接産地に電話をして直送して貰うように努めました。

その後も参加者は増え続け、バブルの最盛期には、多いときには40人を超える時もありました(その時会員数120名・平均参加者は25人ぐらい)。

バブル後は多少参加者が減りましたが安定的に参加者があり(15〜20人)、前年度西三河中分区ガバナー補佐・杉浦壽康さんが、会長の時(1998〜1999年度)に準公式行事として認められ、「標題」にある「芝蘭会」という会の名前をつけました。準公式行事ですので予算はつきませんが案内は事務局でやって頂くようになりました

この会では宴会が始まるときは、最



後に会場に入ったひとが、乾杯の音頭をとる慣例になっています。

これをヒントにして、一流大企業の岡崎支店長のある会員は、会議の司会を会議室に最後に入った人にやらせました。

その後、何時司会をやらせられるかわからないから、開始時間の早めに来まるようになるし、事前によく勉強するように成ったそうであります。芝蘭会に参加して、これこそ良い感化をえられるような美しい交友関係ができたのであります。

以下に芝蘭会で賞味している旬の味の明細を示します

7月「鱧」

8月「おこぜ」

9月「鮎」(地元のお茶と一緒に焼いたもので大変香ばしい・絶品です)

10月「一色産うなぎ」(ここの肝焼きは絶品)

11月「クエ」(和歌山県南部町漁港より直送)

12月「天然フグ」(愛知県伊良湖沖で獲れたもの・飲んで食って9000円也で、大変値打ちの料金です)

2月「関あじ・関さば」(大分県関漁港より直送)

3月「鹿肉」

4月「熊本産霜降り馬刺し」(鮭も美味しいが、軽く炙ったものは絶品)

6月「時しらず」(一年で最も美味

しいとされる鮭)・毛ガニ

第57代会長(2007~2008年度) 蜂須賀利雄

●豊田東RC(西三河中分区)

一泊親睦例会の思い出

月は朧に東山、霞む夜毎のかがり火に：京の都の夜、踊る舞妓の白い指先に誘われるように酔心も深くロータリアン同士の会話も華やかにはずむ。そつと祝儀を握らせる人も居て宴がにぎやかに響き、黒い森の静寂に溶けていく。昼間は、リンリンと鳴くハ〇〇〇匹の鈴虫の音色に老僧(ロタリアン)の声もとぎれがちな鈴虫寺。話題の「わらじをはいた地藏」さんが、わざわざ自宅まで来て身の厄除け、縁結びなど願いを叶えてくれるという有りがたい話に合唱。川の水の清らかな桂川の渡月橋をめぐり、天龍寺では、法堂の天井に画かれた五爪の「八方睨みの龍」の迫力に圧倒される。その眼光の鋭さ、そしてどの位置に立っても眼が追ってくる動きに驚きながら、画伯、加山又造氏の画才に思わず感嘆の声があがった。そんな京をあとに二日目は、水郷、近江八幡へ。ゆつたりと小舟に乗って水郷めぐり。よしの間をぬって進む水路に先人の知恵を見た。彦根城下では新しい街づくりの街並みを歩き、名産の和菓子や山ほど買ってバスの中へ。「ビールが足りんぞー」や「俺



近江八幡水郷めぐり

終了しました。(六月十二日)

愛知治



京の宴

に当るカードを配れ」などの声が乱れとぶ中、ビンゴゲームを楽しみながら六〇余名の参加で仲間同士の気心が通じ親睦の和が広まった一泊例会は楽しさの中に

私とロータリー

●常滑RC(南尾張分区)

ロータリーへの思い

振り返れば、はっという間の27年(ロータリー歴)時の流れはまったく早いものです。

脱サラを試み会社を創業するも経営もなかなか軌道にのらず大変苦しい状況のなか42歳の時にお誘いを頂きまして、元々ロータリーなど頭の片隅にもなく全く別世界の思いから当然お断りするも、会長、幹事、増強委員長と次から次への人界戦術に根負けし、とうとう頭を縦に振るはめに。

総務部長も営業部長も兼務する零細企業の親父が毎週の例会はとても無理、いざれ近い内に退会すればとの思いは当時の偽りのない心境であります。

このような私が今日まで継続できたのは企業の規模も社会的地位もましてや学歴も関係なく『奉仕の理想』のもと、年齢、性別、職業全て平等と云うロータリーの魅力であるうと思っています。

会員減少と云う厳しい現状、あまり難しく考えず若い人にも理解を頂ける明るく楽しく魅力あるロータリーを目指すべきであろうと思っています。

清水幸一



●名古屋中RC(西名古屋分区)

ロータリー雑感

ロータリーに入会する動機、思惑は大きく分けて奉仕活動、友人を作る、信用、ステータス等々社会に参加する掛け橋、自分の仕事への繋がり、人それぞれでしょう。しかしそれ等の動機、思惑が思い通りに行かない方も多くいます。それ等を解決する決め手はクラブの行事に積極的に参加する事でしょう。

動機がなんであれ、それ等に近づく道はやはり会員との親睦を深める事が肝要ではないでしょうか。親睦が深まるにつれ入会の動機、思惑以外の新たな魅力を発見する人も多くいます。とは云っても私が二十五年前に入会した当時、一業種一人、厳格なテリトリ制がありました。現在は全くの有名無実であります。拡大もロータリーの大きな使命である以上、やむを得ないかもしれませんが、新しい人が入会し易く、現会員にとってはマイナスの魅力になっていることも事実です。入会し易く、退会し易く拡大を続ける方向に進んでいる様に思います。そんな中でロータリーに魅力を各々が自分なりに発見して行くにはそれなりの自助努力が必要ではないでしょうか。中RCでも年齢差が五十才程あります。これ等の中で一人でも多くの人と親しくなり、楽しむには、この中に居れば自然発生的に

親しい人が沢山出来るという事を待っているだけでは中々うまく行きません。幸いにも中RCには多くの趣味の会があります。その他にも盛り沢山の企画もあり退屈する間もその気になればありません。是非各種行事に積極的に参加し絶えず新しいロータリーの魅力の再発見に努力しましょう。

会長 山本 祥二

●豊橋ゴールデンRC(東三河分区)

ロータリアンになって

ロータリークラブに入会して1年6か月が経過いたしました。

ロータリーのバッヂをつけてロータリーの一員になったんだとの実感と誇りを感じ、同時に疑問も湧いてきました。一員となって、なにができるのかな?という素朴な疑問です。

前任者の後を自動的に継いできましたが、本来そういうものではなく、様々な奉仕を実践するため賛同し、選ばれた人たちの集まり。そのためには時間と費用と労力を拠出することに積極的でなければいけません。私のように転勤で移動し任地のロータリアンとして参加している人も少なくはないと思いますが、自身の判断で拠出することには限界があります。今後どのような形で継続していけば良いのか悩ましいところです。労力は厭わないつもりですが、

異業種交流には、いろいろな団体が

ありますが、ロータリークラブのように素直な気持ちで参加できる機会も少ないと感じています。これからクラブを大切に、一週間に一度の会合に積極的な参加をしていきます。よろしく願います。

乾 保信

●岡崎東RC(西三河中分区)

私にとって奉仕の理想とは

改めて貴方にとって奉仕とはと尋ねられたとしたら、私は何と答えるだろうか。

職業を通して奉仕をしているのだから、奉仕は仕事であると答えると思う。しかし仕事は収入の糧であり利潤の追求の場でもあります。ここは生への競争の場であり、決して美しい世界では無いと思うのです。何故ならば、裏腹には生存競争に敗れ、見るも無残な厳しい世界があるからです。では理想の奉仕はあるのだろうか。それは仕事を通して生かされている感謝の気持ちから来る恩返し姿ではないでしょうか。人の為に自分を尽くすこと、利欲を最小限にとどめ、最大利他の究極を求め続けていくロータリーの奉仕哲学の姿でもあるのです。厳しい競争に打ち勝った仕事の勝者ができる感謝の気持ちではないのではと思うのですが。

会長 手嶋 明

随筆

●あまRC(西尾張分区)

天覧手品の栄を思う

昭和五十六年六月三十日、皇居吹上御所において昭和天皇満八十才を祝う内輪の会が催され、私は家内同伴で参内し、昭和天皇を中心に皇族方に手品を天覧賜りました。手品をご覧に入れたのは私を含め六人でした。私が代表で陛下に一分間ご挨拶を申し上げ、「名古屋オリンピック実現の暁には天皇皇后陛下のお元氣なお姿を名古屋で拝したく、心からお待ち申し上げます」と結びましたが、現在の天皇、皇后がにっこりと頷かれた様子が印象的でした。名古屋オリンピック実現を信じておりました。演技は私が最後のトリで、トランプを空中より沢山取り出すミリオンカード、最後に紅白のシルクを、寿の大旗に変化させ「天皇陛下おめでとうございます」とお祝いの言葉で結びました。その日は、私たちの結婚記念日で感激もひとしおでした。これが生涯の最高の思い出です。

大竹 和美

●岡崎東RC(西三河中分区)

私の旅紀行

島根県津和野町の鷺舞

この写真は今年の5月のゴールデン



ウィークに津和野町へ家族で行った時に撮ったものです。津和野は津和野川に沿って細長くひらけた山峡の城下町です。鎌倉期の築城以来明治維新まで続いた森鷗外、西周（にしあまね）のふる里で、藩政の史跡がそのまま保存されている美しい町です。掘割には鯉が泳いでおり、赤い石州瓦の街並みは山陰の小京都と云われています。

写真のブロンズ像2基は毎年7月20・27日に弥栄神社の神事で行われる国の重要無形文化財の「鷲舞」です。雌雄の鷲に扮した舞人を中心に演ずる舞で赤い細袴を穿き、それ以外は全身白づくめの衣装で優雅に舞う姿は歴史の深さを感じさせます。もともとは京都の祇園祭で舞われていたものでしたが、京都では一時途絶えてしまいここ津和野でのみ継承されてきました。中

央の子供二人の舞は地元にも古くから伝わる長福千原神楽で伝統芸能を大切に
する土地柄のようです。

岩月鑑廣

●三河安城RC（西三河分区）

我が家の憲法「七ヶ条」

我が家の一日は、夫婦も親子も「おはよう」のあいさつで始まる。2階に上がるとき、階段の踊り場から上を見上げると、必ず目に留まる額が現われる。我が家の憲法「7カ条」である。

「1条. あいさつ、2条. 返事、3条. 後片付け、4条. 自分のことは自分でやる、5条. 協力し合う、6条. 読書、7条. 毎日一つずつ積み上げていく」と。毎月お小遣いを渡す時、子どもたちはこの憲法を暗証する。憲法の第1条があいさつから始まることには、大きな意味がある。挨拶（あいさつ）の挨拶は聞く、挨拶は迫る。つまり、あいさつとは、心を開いて相手に迫ることをいう。日本人はコミュニケーションが不得手で、その風土の中で育った夫婦に「おはよう」のあいさつがないことに時々驚く。本来夫婦は他人、家族はそれぞれ人格を持った異文化の集合体。子どもたちが、その時、その場所、その相手に最も相応しいあいさつができるようになったら、私の親としての務めは半分終わると思っています。

司法書士 矢田良一

俳句

●名古屋北RC（東名古屋分区）

梅雨夕焼比良の山々茜色
浦野 三善

雨上り泰山木の白さ映ゆ
加藤 櫻庵

鮎の香に杯を重ねし山の宿
鈴木 堂司

早苗田に柔らかき雨降り続く
前崎 緑水

静かなる雨六月の青畳
山口 兼市

畦道を風に吹かれて田植歌
渡邊 嘉昭

川柳

●小牧RC（東尾張分区）

年度末会長ニコニコ エレクトカチカチ

例年の風物詩の様に、年度末になると会長の表情と、会長エレクトの表情は対照的であります。

年度末いくら残るか 繰越金

次年度会長・幹事・会計は、繰越金がいくら残るのか大変気になります。

幹事 鈴木文勝

●愛知長久手RC（東尾張分区）

古希過ぎて時の流れが加速する
空白を古希という字が埋めている
出不精も好きなことには軽い腰

吉田 一子

●豊田三好RC（西三河中分区）

宝クジ 無駄な夢見ず 財団へ

会長 永井光彦

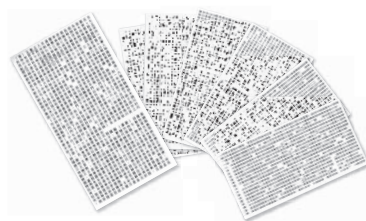


善語座右

ガバナー月信

「防毛録」

ボケロクではなくボウモウロクと読む。毫碌を防ぐボケの備忘帳という意味である。一行一センチ余の縦罫の厚さ二センチばかりで教科書大の和綴じの厚表紙の主として仕事用のものであるが、思いついたことはなんでも書き込む机上用である。昭和四十九年が始まり、今では



全部で二十冊ばかりである。今見ると、その表題には色々苦勞した跡が見て取れる。無題や単に備忘録と記載されたものに混じって、「忘れ誌」(誌に濁点が振ってある)「忘れがた記」「聴月」おちよんぼ「御稚音簿」などと面白いのがある。お終いの方は歳相応に全部「防毛録」に定着し現在に至っている。買い溜めの和綴じ本はあと一冊だけ。それが満杯になったら、本当に我が一巻の終りの時である。

もう一冊、訟廷日誌というB六版ほどの厚さ一センチ位の大振りの手帳を肌身離さず重用している。これも弁護士登録をした昭和四三年版から一年も欠かず書棚の奥の方に並べてある。

五九年版から後の手帳の最初と最後の数頁ずつは、参照すべき事項がびっしりと書かれた用紙が糊で張り付けてある。年々張り付けるページが多くなつて、今年度版には愛知県弁護士会歴代役員表 歴代ガバナー・地区幹事・ガバナー補佐(分区分代理) 一覧 地区役員及び委員会構成 歴代ガバナー・クラブ会長・幹事等一覧表 名古屋東南RC定款 同細則 理事会及び構成表 年度例会プログラムなど弁護士会、ロータリーのものは便宜のため、天皇系図 名古屋城図 尾張藩家臣表 大名表 般若心経 正信偈 漢詩集 世界指揮者集 オークストラ集などは少しでもロータリアンの仲間に入れるよう教養を身につけるための暗記用。珍重すべきは細字のよろず集。参考までに一覧に供す。

地区報『奉仕の理想』投稿のお願い

募集内容

- 1 提言、苦情、話題、問答、意見など
- 2 ロータリー文芸
 - (1) 随筆
 - (2) 俳句・短歌・川柳ほか
 - (3) 善語座右・四字熟語(座右の銘・夫声人語的な文・モットーなど)
- 3 ロータリー会員相互の親睦を深めるもの
- 4 同好会、趣味の会 など
- 5 クラブの催し など
- 6 クラブの奉仕活動 など

- 原稿量 …… 概ね400字程度以内でお願いします。
 - 宛 先 …… ガバナー事務所『奉仕の理想』編集室宛 左記参照
 - 形 態 …… Eメール governor08-09@rotary2760.org
 - 締 切 …… 発刊の2ヶ月前を締め切りとします。
- (例 10月号の締め切り…8月末)



1995年11月14日ゴルフコンペ後の挨拶にて